

西脇市保育士等キャリアアップ研修（保育実践分野）

受講者感想 （2021. 12. 24）

- 実際の経験や、考え等、様々な話を聞いて、色々なことを考えることができました。発表会一つとっても、そこに至るまでの道筋、子どもの育ち、学び、先生の思い、子どもの考え、雰囲気等、様々なことを考えて、より良いものを作るために努力することが必要であると思いました。最後に、保護者にこの園ではこういった子どもに育つ、こんなことができるようになることと伝えられるようにしていきたいと思いました。
- 今回、各園の劇、発表会について話し合いました。各園の特色、子ども達のカラーに合わせた物となっており、とても参考になりました。どの園も、生活の中から劇へと繋がるような動きとなっていました。保護者の思いもあるが、子ども主体となった保育を行っている姿は、技術が必要になると感じた。特に発表会は子どもの生活の姿を見てもらうことを考えなければ、意義が曖昧になってしまうと感じました。
- 他園の先生方のお話や、発表会の内容を聞いてとても刺激になりました。“今”の子ども達の姿に寄り添い、子ども達の日々の姿を取り入れた、子どもも保育者も楽しい発表会が作りあげられたらいいなと思い、またそれが園全体の園全体の雰囲気として定着すれば一番良いな、と感じました。今日学んだことを存分に取り入れ、発表会に向けた活動に取り組んでいきたいです。ありがとうございました。
- 今日は、私の悩みから、劇の遊びの構成までの話を聞いて良かったと思います。また、絵本選びの中での重要な視点を改めて考えたりすることで、子ども達に向けてのメッセージって本当に大切なんだなと思いました。創作話や言葉のみのイメージすることで母語の定着が身につくんだと改めて学びになりました。子ども達の日常生活を発表して見てもらうことが大切であり、子ども達も成長に繋がることが分かりました。また、表情が嬉しそうでやっていることが大切だと改めて分かり、今日の講義を受けて良かったです。
- 今年初めての発表会だったので、不安な気持ちをいただいていたのですが、2・3歳児の先生に質問をたくさんして、色々なアドバイスをもらうことができたのでとても良かったです。「大きいおにぎり」を作ったり、「おむすびころりん」の曲をままごと遊びで流していけば、繋がっていくことを学べました。3歳児で悩んでいることや困っていることは、どの園でも同じだということにも気付くことができ、1月・2月と色々な先生にアドバイスをもらい、自分なりにいい発表会になるように頑張っていきたいです。
- 発表会に向けて、色々な不安や悩みが多々ある中で、グループワーク等で、少しずつ道筋が見えてきたように思います。道具等、環境を用意したりして遊びから取り入れ、繋げていけるようにしたいと思います。保育者にとっての発表会ではないので、もっと子ども主体で、子どもにとってどうしたら良いかを考え直したいと思いました。わがままイコール自立でないと、数名の子ども達に言おうと思いました。先生のお話が楽しく、自分のはっとすること、考え直すことも多々ありました。本当にありがとうございました。
- 今日は、発表会について他園の先生方とたくさんお話をさせていただき、お話の進め方やストーリーの決め方、歌等、色々なやり方があり知ることができて、不安に思っていた気持ちが少し楽になりました。初めて知った絵本もあり、クラスの子どもにぜひ読んでみたいなと思います。先生方から素敵な話が聞いて、とても良い時間になりました。ありがとうございました。

○お話遊びは、単に言葉のやり取りではなく、困難・課題が乗り越えられなくても、皆で共有した・考え合った・意見を出し合った・折り合いをつけた・納得したという経験が大切で、そのことを保護者に伝えていくことも大切だということ学びました。お話遊びで、あれこれ作らなくてはとってしまうのですが、先生の「ある物を使う、ある物で見立てる」ということを教えていただき、とても勉強になりました。